

金沢市特定健診・胃がん内視鏡検診を受けられた方へ

研究課題「胃がん内視鏡検診におけるリスク層別化の試み」について

胃がんは、日本人が発症するがんの中で、まだまだ上位を占めています。現在の医学においても治療が難しいがんがある一方、胃がんは早期に発見できれば、内視鏡を用いた粘膜切除術等の有効な治療方法がありますので、胃がん検診の果たす役割は重要です。

胃がんを早期に、しかも効率的に見つけるためには、がんのできやすい人、できにくい人を予測することが大切です。今回は、金沢市の検診（胃がん内視鏡検診と特定健診）のデータを用いて、胃がん発症の危険性の程度、について検討することにしました。

研究内容は下記の通りです。疑問がある場合、参加したくない場合は、お申し出ください。

なお、本研究は、金沢市医師会倫理委員会の承認を得て行うものです。

□ 1. 今回の研究について

胃がん発症のリスク因子として、胃粘膜の萎縮が報告されています。粘膜の萎縮は、内視鏡検査で評価できますので、金沢市医師会では、これまでも萎縮度とその後の発がんの関連性について報告してきました。しかし、萎縮度の他のリスクについての検討は不十分です。

金沢市の検診では、内視鏡検査だけではなく、特定健診も同年度に受けられる方が多くいらっしゃいます。そこで、今回、胃粘膜の萎縮だけではなく、特定健診で得られる身長、体重、血液検査（貧血の有無、糖尿病の有無など）や問診（喫煙や飲酒など）などのデータについても、胃がん発症との関連性の検討を計画しました。より多くの因子について胃がん発症との関連性を分析し、今後の胃がん対策に役立てたいと考えています。なお、研究期間は、金沢市医師会倫理審査委員会の承認後から 2023 年 12 月 31 日までです。

☐ 2. 対象となる方について

今回の研究の対象となるのは、胃がん内視鏡検診と特定健診を同年度(2009～2015年度)に受診し、その後2016年度までに1回以上の胃がん内視鏡検査を受けた方、及び、2009年度から2015年度の間、胃がん内視鏡検診を2回以上受けた方となります。ご自分が対象となっているかどうかをお知りになりたい方はご連絡いただければ、お調べいたします。なお、この研究によって、対象となる方に新たな負担が生じることはありません。

☐ 3. 予想される利益（効果）と不利益（副作用）について

この研究は観察研究（検査結果だけを分析する研究）であり、この研究に伴う効果や副作用はありません。予測される不利益として個人情報の流出があげられますが、万が一のことも考えて、データはすべて匿名化して、取り扱います。

☐ 4. 健康被害が発生した場合について

この研究は観察研究であり、この研究により健康被害が生じる事は有りません。

☐ 5. プライバシーの保護について

集計されたデータは学会や学術雑誌等で発表されることがありますが、個人情報などが公表されることはありません。

☐ 6. 研究参加に伴う費用負担について

この研究に参加する事による新たな費用は発生しません。

☐ 7. 特許等について

研究の成果により特許権等が発生する場合、また、特許権によって経済的利益が生じる場合、その権利は、全て研究機関及び研究遂行者などに属します。

☐ 8. 資金源等について

この研究には、特に資金はかかっておりません。

□ 9. 研究への参加の自由と同意撤回の自由について

この研究に参加するかどうかについては、あなた自身の自由な意思でお決めください。また、研究に参加することに同意された後でも、同意を取り下げることができます。また、参加をお断りになられても、あなたのこれからの検査や治療に差し支えることは一切ありません。

□ 10. 研究に関する窓口

この研究の内容について、疑問点、あるいは詳細な情報をお知りになりたい場合は、下記相談窓口にいつでもお尋ねください。

金沢市医師会

研究責任者氏名：鍛冶 恭介

職名：会長

分担者氏名：崎川 能孝

職名：主査

相談窓口： 金沢市医師会 電話：076-263-6721